

3. 代替輸送訓練の実施

平成30年12月5日

北陸地域国際物流戦略チーム
広域バックアップ専門部会

(1) 今年度の代替輸送訓練の開催状況

■代替輸送訓練の目的

訓練実施の目的：太平洋側の荷主企業及び物流の供給者に代替輸送の有効性を確認するとともに、「基本行動計画」の実効性を高めるため、代替輸送訓練を実施した。

■本年度の代替輸送訓練の実施概要

【首都圏開催(さいたま)】

「首都直下地震に対応した代替輸送訓練」

- 日時：平成30年10月30日(火) 13時～16時30分
- 場所：大宮ソニックシティ
- 参加人数：103人 参加主体数62社

【中京圏開催(名古屋)】

「南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練」

- 日時：平成30年11月13日(火) 13時～16時30分
- 場所：名古屋国際センター
- 参加人数：97人 参加主体数54社



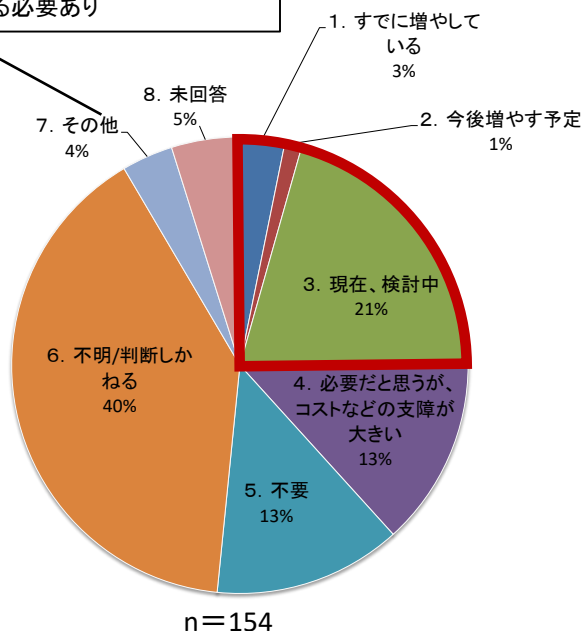
(2) 代替輸送訓練のアンケート結果

① 平常時から北陸経由の輸送を「すでに増やしている」「今後増やす予定」「現在、検討中」と答えた人の割合は25%となった。

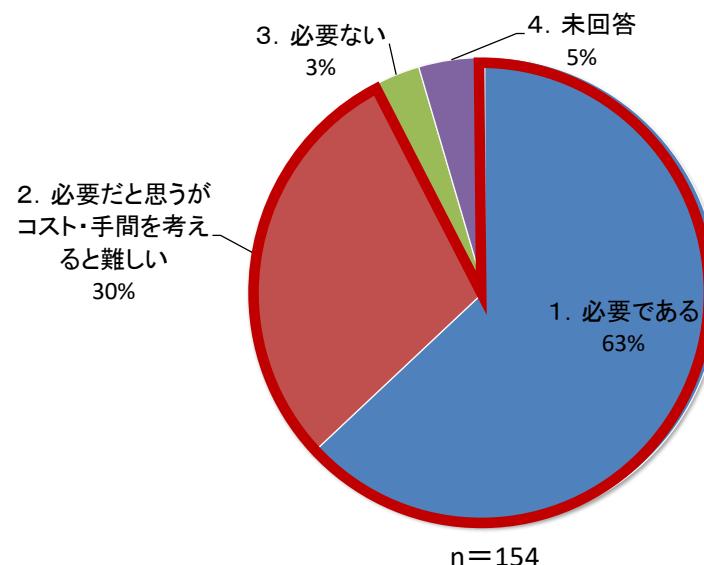
② 訓練が「必要」もしくは「必要だと思うがコスト・手間を考えると難しい」と答えた人の割合は93%となった。

【その他主な意見】

- ・船便の制約もあり、使用しにくいのが現状
- ・商社委託の為当社としては判断しかねる
- ・どこがよいのか検討する必要あり



**25%が北陸地域港湾を利用
もしくは検討している**



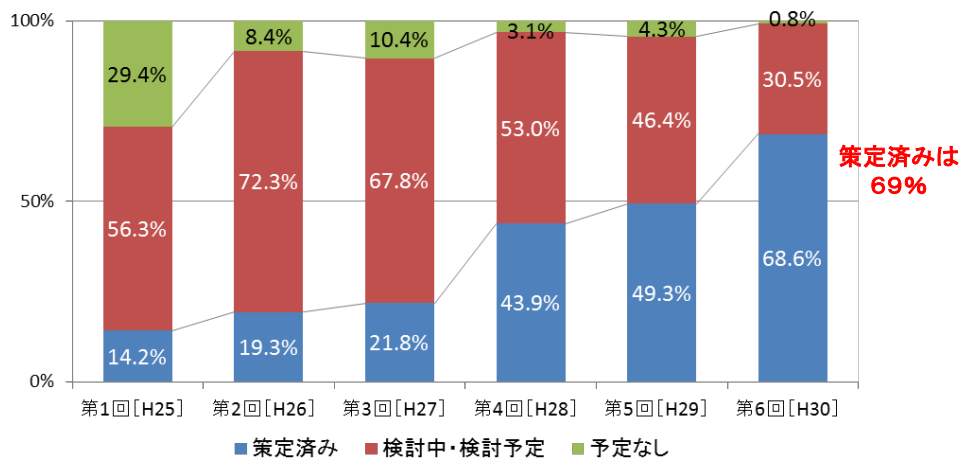
93%が必要もしくは必要だと思うがコスト・手間を考えると難しい

① 有事に備えて平常時から北陸経由の輸送を増やすことについて

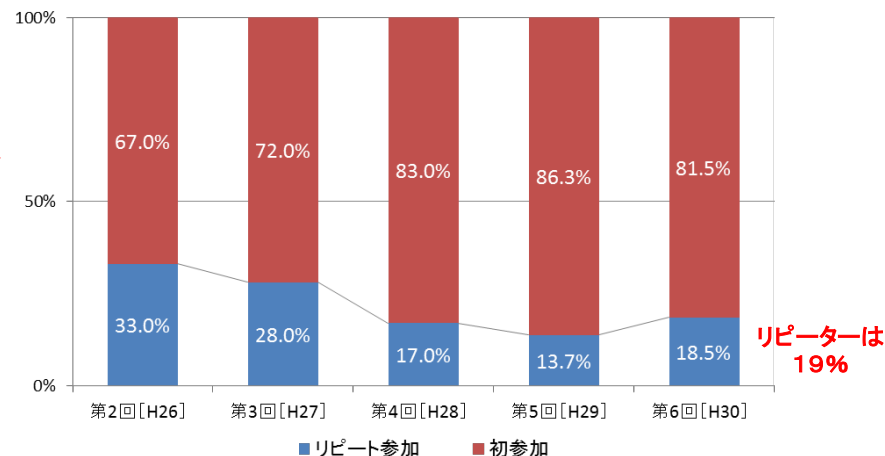
② 代替輸送訓練の必要性について

(2) 代替輸送訓練のアンケート結果

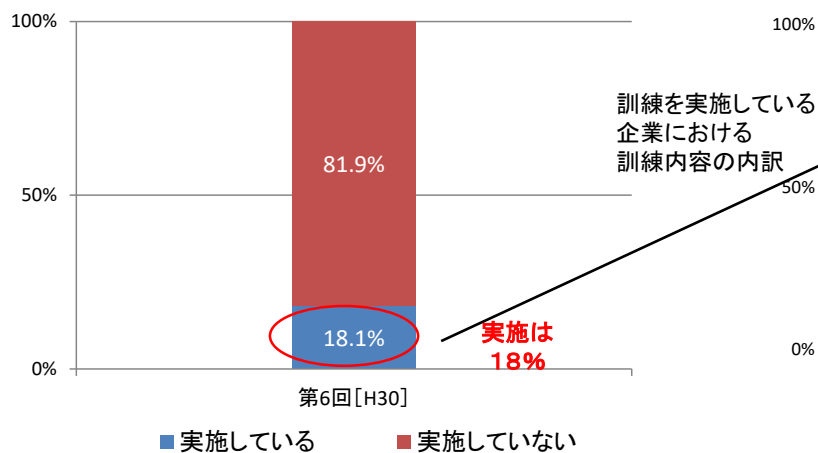
- ①事業継続を策定済みの参加者は、年々増加し69%となった。
- ②今年度のリピート参加は、昨年度よりも増加し19%となった。
- ③訓練を実施している企業は18%となった。



①事業継続の策定状況



②訓練への参加リピート率



③事業継続のための訓練の実施状況

